

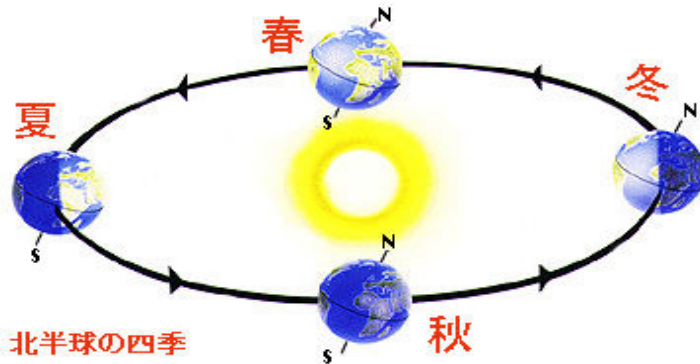
# 人間の命=時間

## 一時間、一日、一か月、一年

地球上のすべての人、老若男女、貧富の差なく平等に持っているのが一日の時間、24時間。  
人間の命とは、自分の持っている時間なのです。

私たち人間が住む地球は46億年前に誕生して以来、一日で一回転(自転)しながら、一年かけて太陽の周りを一回りしています(公転)。

地球の地軸が23.3度、傾いているために、時期により太陽の日が当たる強さが違い、それが春夏秋冬の季節、温度差になります。



北半球の四季

12という数字は重要だったので。

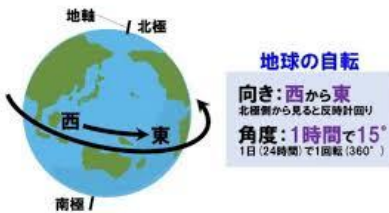
片手で12まで数えられるので「12」



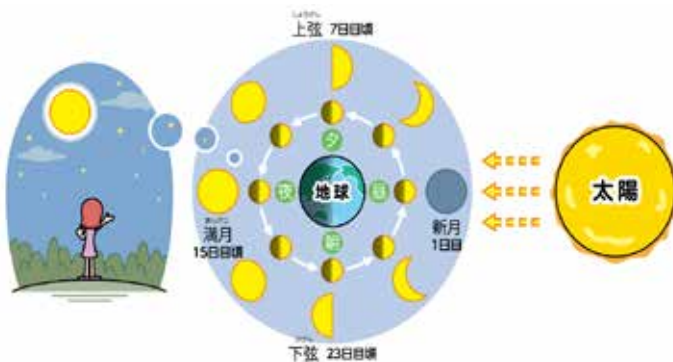
わたしたちの太陽が46億年前に生まれた時には、そのもとになったガスやチリは、もともと回転していて、それを囲むガスやチリも当然回転していました。その原始の太陽をめぐるおびただしい数の物質から小さな無数の微惑星(びわくせい)が誕生し、それらがぶつかることは合体することをくりかえしながら、地球などの惑星ができたと考えられています。

ですから、回転している物質から生まれた惑星たちは、その角運動量を引きついで自転していて、その自転軸や自転の方向も、それぞれの惑星がどのようにしてできたのかを反映したものになっていると考えられます。

地球が一回転する自然現象、明るい昼間、暗い夜中の二つが出来、日々、同じ動きを繰り返します。古代の人は昼夜の一つの期間を一日としたのです。



また、大昔、「人間は夜空の月を見て、カレンダーを作りました」月は満ち欠けを繰り返し、30日ほどでまた元に戻ります。この30日ほどを一か月としました。



この月の満ち欠けを12回繰り返すと、季節が変わり元に戻ることを経験で知り12か月を1年としました。  
12という数字は重要だったので。

紀元前15世紀ごろに、エジプトで日時計が出来ました。古代エジプトに住む人たちは一日を明るい昼と、暗い夜に分け、それぞれの時間を12に分け(当時エジプトでは12進法が使われていた)昼を12等分、夜を12等分しました。昼夜、それぞれのの十二分の一の時間が一時間です。

ところで、なぜ時間を分割するのに12という数字を使うのでしょうか。このことについては諸説ありますが、「指で数えるのに都合が良い」というのが有力説の一つです。

「指は10本だから、10の方が数えやすい？」と思われるかもしれませんが、10以上を数えるためには何度も指を折らなければなりません。「何回折ったっけ？」と迷うリスクがあります。

この12という数は「親指以外の指の関節の数(=3つ×4本)」です。古代の人々は、親指で別の指の関節を触れることで数えていました。右手の人差し指から小指へと関節を触れていき、12個触りきったら左手の指を1つ折る、という具合。

1時間が60分、1分が60秒なのは何故？

時間の細かい区分はギリシャの天文学者たちにより60進法が採用されています。

分(minute)は小さく分けた部分、秒(second)はsecond minuteで第二の小さく分けた部分というラテン語がもとになっています。

一日24時間は古代エジプトの12進法で、その後、時代が進み、一時間60分、一分60秒はギリシャの60進法で作られました。